

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

⚠ 警告 誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの

! 指示する行為の強制 (必ずすること) を示します。

⚠ 注意 誤った取り扱いをしたときに傷害や物的損害に結びつく可能性のあるもの

⚠ 注意を示します。

⚠ 警告

・窓パネルは重量に耐えられる場所に確実に取り付けてください。また、窓パネルの移動や再設置をするときは、必ず正しく取り付けられていることを確認してください。取り付けが不完全な場合、窓パネルの落下によるけがの原因になります。

! 取り付け後は窓パネルが確実に取り付けられているか、ハンドルやネジに緩みがないか定期的に点検を行ってください。緩みがある場合、窓パネルBが勢いよく滑り落ちることがあります。

・取り付け後の窓パネルにもたれかかったり、無理に押したりしないでください。

・雨や風が強いときは、使用を中止し窓パネルを取り外してください。

⚠ 注意

! 取り付けは、必ず指定の部品を使って正しく取り付けてください。
・取り付けの際は、安全のため手袋(軍手)を着用してください。窓パネルの縁でけがをするおそれがあります。

⚠ 取り付けや取り外しの際は、指を挟まないように注意してください。

●本書では、引き違いのアルミサッシの右側(手前側)への取り付けを前提にご案内しています。左側には取り付けできない場合や、サッシの種類によっては取り付けできない場合があります。また、部品の加工や、別途部品が必要となる場合があります。
なお、本書でご案内していない取り付け方法に関するご意見・ご質問にはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。

●窓パネルを使用することで、効率的に屋外への排気を行うことができます。

●冷風運転時、室温の上昇を抑えたい場合に効果的です。

●鉄製の窓や特殊な窓には取り付けできないことがあります。

●組み立てや取り付けは周囲の安全を確認してから行ってください。

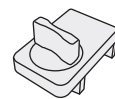
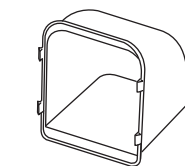
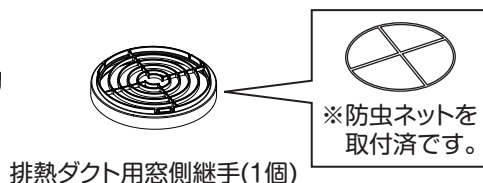
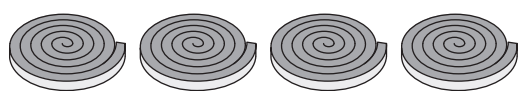
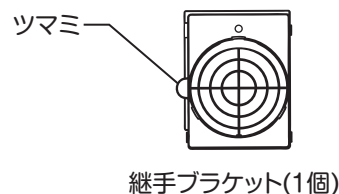
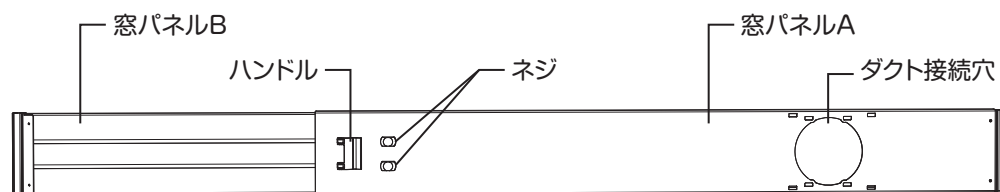
●取り付けの際はハサミまたはカッターをご用意ください。

●開梱時に独特なおいがすることがありますが品質への影響はありません。時間の経過によりおいは無くなります。

●風の影響を受けて風切り音が発生したり、本体の振動などにより騒音が発生したりする場合があります。

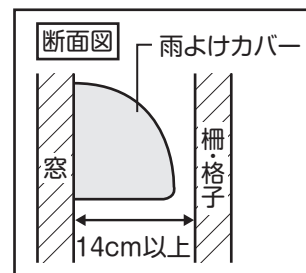
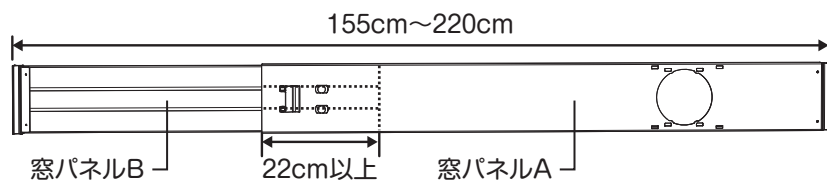
●外出する時は窓パネルを外し、窓を閉めて窓自体の鍵をかけてください。

各部の名称



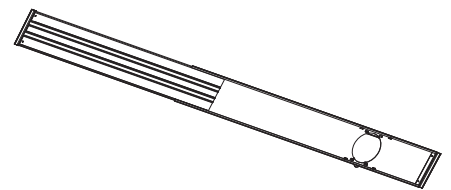
窓への取り付け

- ①窓パネル取り付け前に、窓の高さを測ってください。窓パネルは、窓の高さが155cm～220cmまでの対応になります。
窓パネルAと窓パネルBは必ず22cm以上重なるようにしてください。
また、窓の外に柵・格子がある場合は、窓と柵・格子の間は14cm以上あけてください。

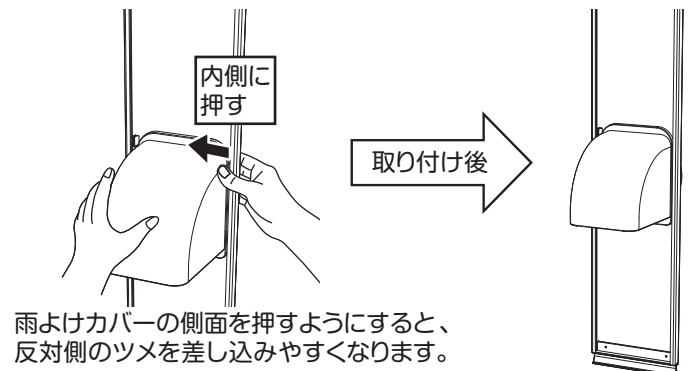
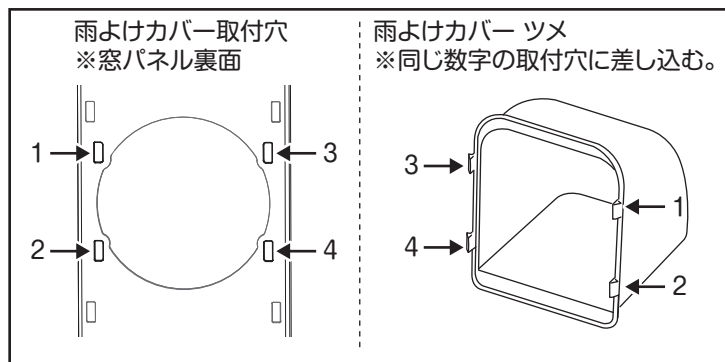


●窓の高さが155cm～220cmの引き違い窓以外には取り付けできません。

- ②窓パネルを裏向きに・ダクト接続穴を下側にして、壁に立て掛けるか床に置いてください。
※ハンドルやネジが付いている面が表面です。



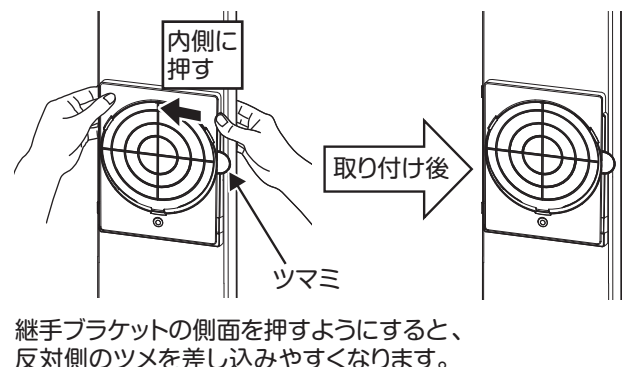
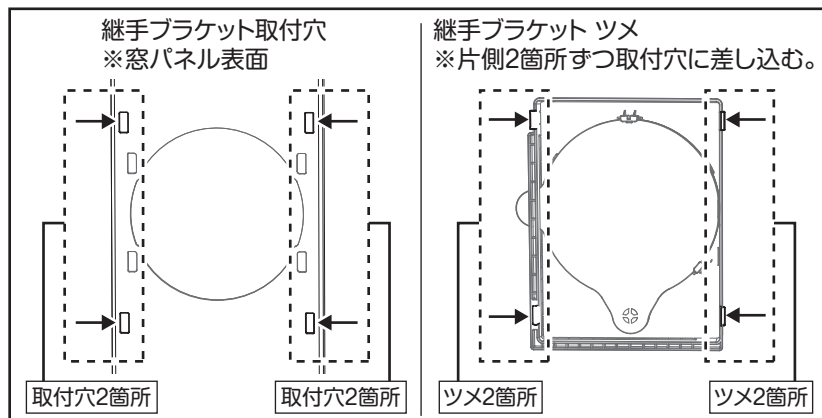
- ③窓パネルに雨よけカバーを取り付けます。雨よけカバーの片側のツメ2箇所(1・2または3・4)を取付穴に差し込んだ後、反対側のツメ2箇所(1・2または3・4)を反対側の取付穴に差し込んでください。



- 雨よけカバーは必ず取り付けてください。
●雨よけカバーは簡易的に雨の浸入を防止するためのものです。豪雨や台風が予想される場合、または暴風などで雨水が浸入するおそれがある場合は、窓パネルを取り外して窓を閉めてください。

- ④パネルを表向きにしてください。
※ハンドルやネジが付いている面が表面です。

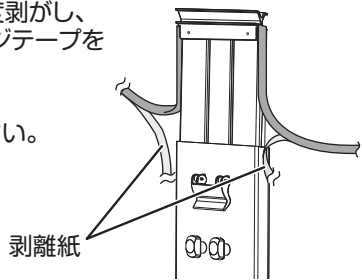
- ⑤窓パネルに継手ブラケットを取り付けます。継手ブラケットの片側のツメ2箇所を取付穴に差し込んだ後、反対側のツメ2箇所を反対側の取付穴に差し込んでください。
※継手ブラケットは、ツマミの向きが左右どちらでも取り付け可能です。



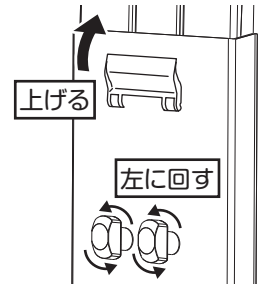
窓への取り付け

- ⑥ スポンジテープの剥離紙を5cm程度剥がし、窓パネル側面の上部に貼り、スポンジテープを垂らした状態にしてください。

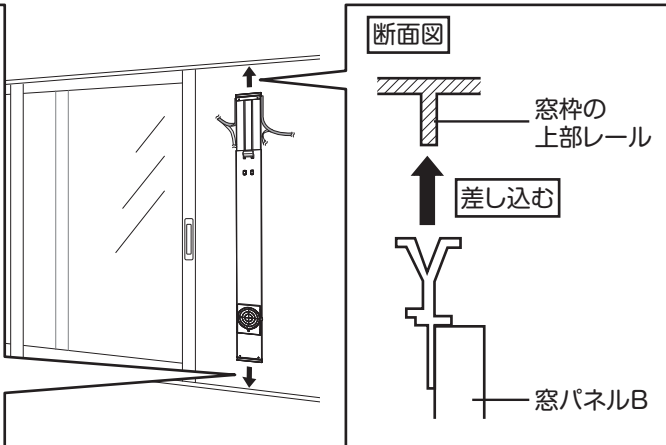
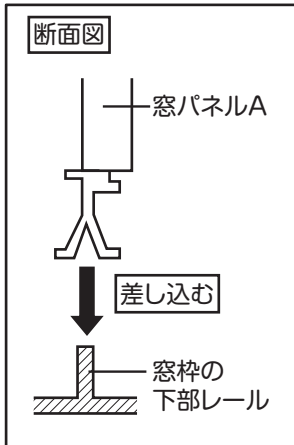
※スポンジテープは切らず、剥離紙は全て剥がさないでください。



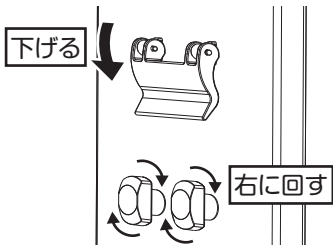
- ⑦ ハンドルを上げて、ネジを左に回してゆるめてください。



- ⑧ 窓パネルAを窓枠の下部レールに合わせて差し込んでください。次に窓パネルBを引き上げ、窓枠の上部レールに合わせて差し込み、ハンドルを下げて仮固定してください。完全に固定する際はネジも閉めて、外れないことを確認してください。



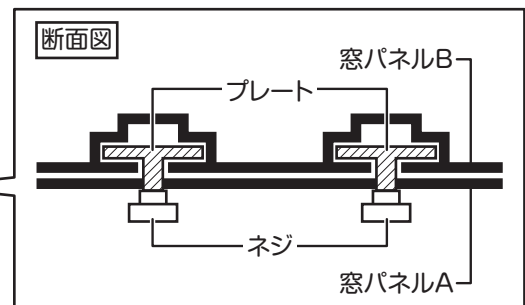
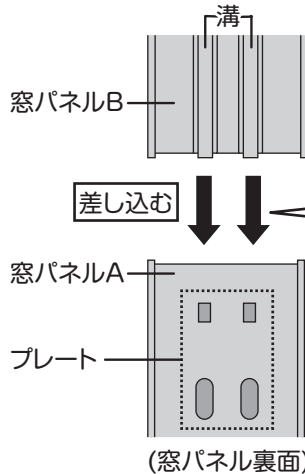
- ⑨ ハンドルを下げて、ネジを右に回して窓パネルを固定してください。



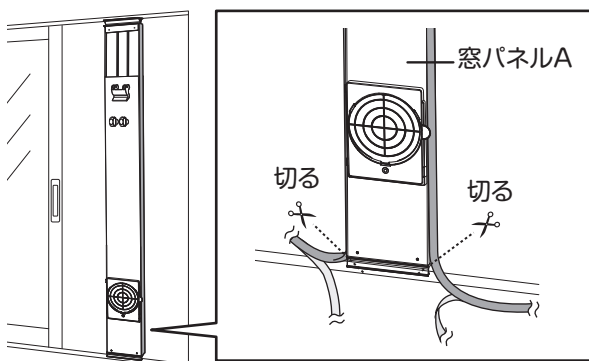
● ハンドルとネジが緩んでいると、窓パネルBが勢いよく落下することがあります。

窓パネルBが窓パネルAから外れてしまったとき

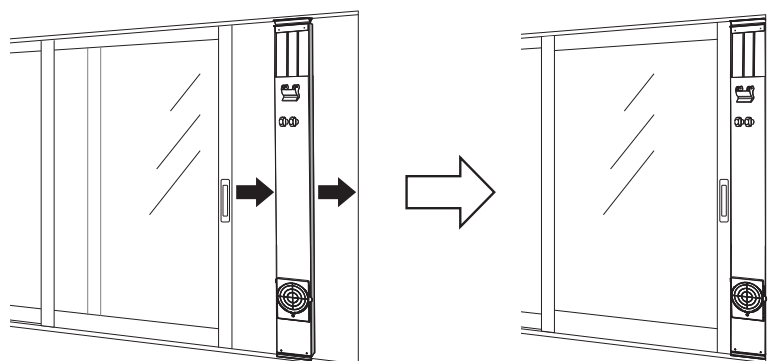
- ① ハンドルが上がっていること・ネジがゆるんでいることを確認してください。
- ② 窓パネルBを窓パネルAに差し込んでください。
※窓パネルAの裏面のプレート4箇所が、窓パネルBの溝に入るようにしてください。



- ⑩ スポンジテープを窓パネルAの下端まで貼ってください。

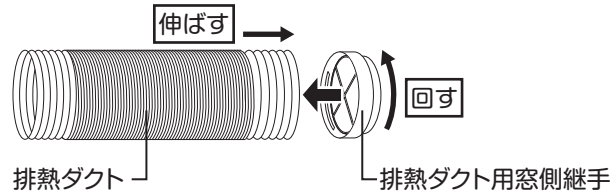


- ⑪ 窓パネルを端にずらして、窓枠に密着させて、窓を閉めてください。

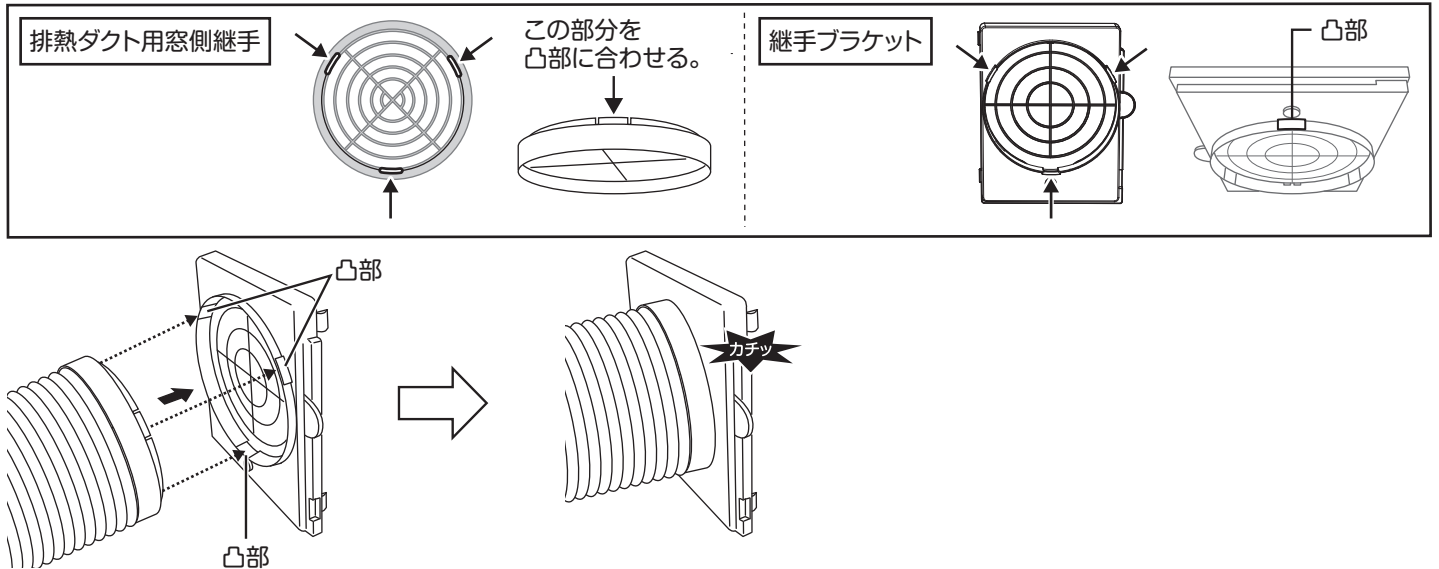


排熱ダクトの接続

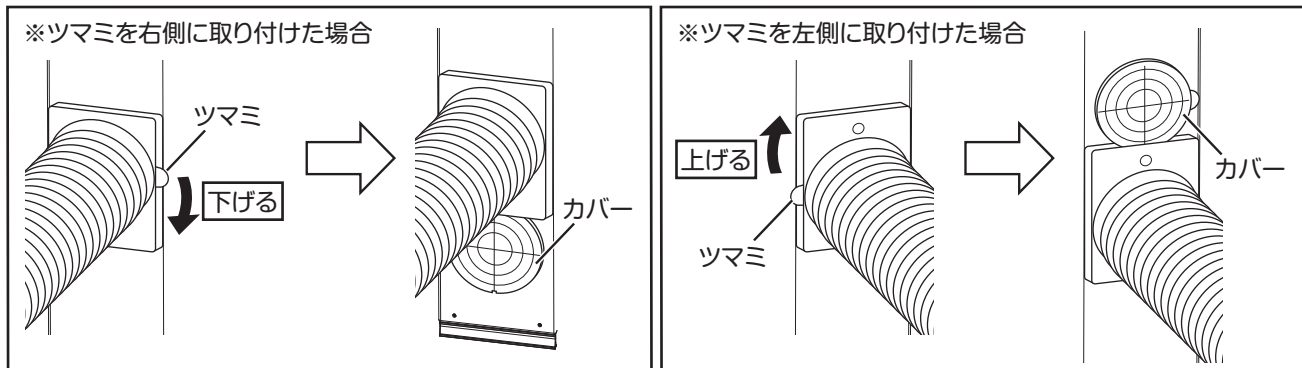
- ⑫ 排熱ダクト用窓側継手を、排熱ダクトに取り付けてください。
※継手を止まる所まで時計回りに回して固定してください。



- ⑬ 排熱ダクトを継手ブラケットに取り付けます。
排熱ダクト用窓側継手の下図の部分、継手ブラケットの凸部(3箇所)に合わせてはめ込んでください。



- ⑭ ツマミを持って継手ブラケットのカバーを開けてください。



● 運転時、カバーは必ず開けてご使用ください。動作不良や故障の原因になります。

- ⑮ 開けた窓の横に補助鍵を取り付けてください。
※窓枠中央にサッシ外れ止めの部品が付いている場合があるため、窓パネルを窓の左側に設置した場合は、本書のような補助鍵の取り付けはできないことがあります。その場合は、補助鍵を使用されなくても支障はありません。
※補助鍵は、窓枠の下レールの奥行きが27mm～45mmまでの対応になります。

